

令和 7 年11月定例会

教育産業委員会資料
(教 育 委 員 会)

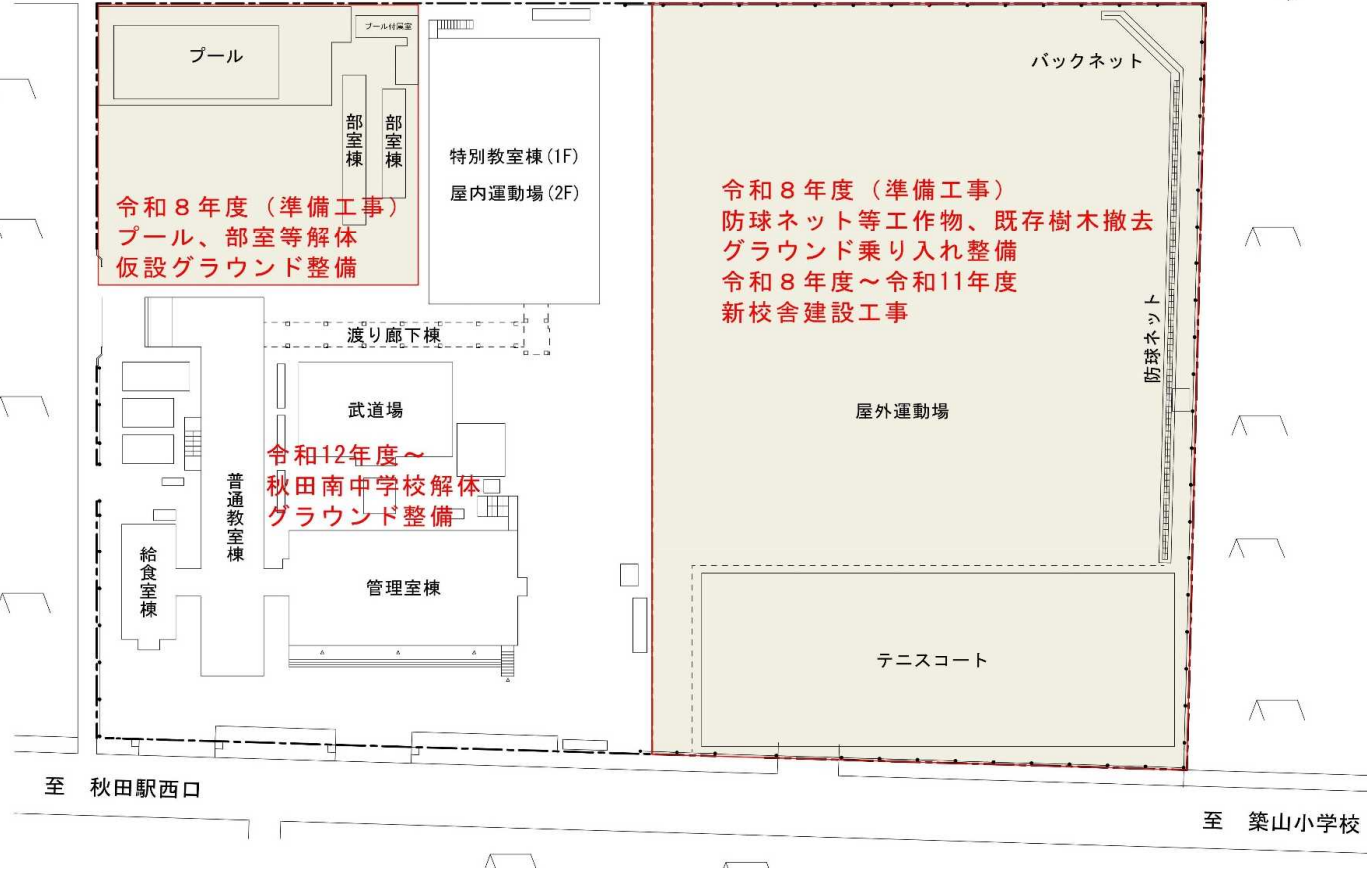
請願・（陳情）		令和7年11月市議会提出分		（新規）・継続
受理番号	受理年月日	件 名	請願・（陳情者名）	
53	令和7年 11月19日	小・中学校給食費の完全 無償化の早期実施について	住所 氏名	
請願・陳情の要点			左に対する措置等	
<p>市長が公約に掲げている「学校給食費の無償化」について、物価高騰の折、子育て支援をさらに充実させ、保護者の負担軽減を図るためにも、早急に実施する時期に来ています。</p> <p>県内において、25市町村のうち、13市町村で完全無償化を実施しており、学校給食費の無償化は、家計を支援することにもつながります。</p> <p>なお、給食費の無償化が実現した際には、給食調理を民間事業者に業務委託するのではなく、市直営で実施していただきたいと考えております。</p> <p>つきましては、小・中学校給食費の完全無償化を早期に実施するよう陳情いたします。</p>			<p>学校給食費の完全無償化の実施に当たっては、小・中学校合わせて年間約14億円の財源が必要になるものと捉えております。</p> <p>現在、国においては、令和8年4月からの小学校における給食無償化を目指し、具体的な制度設計の検討を始めており、本市としては、検討の状況を注視しつつ、市の財政状況を勘案しながら、無償化の実現に向け、準備を進めてまいります。</p>	

請願・（陳情）		令和 7 年 1 1 月市議会提出分		（新規）・継続
受理番号	受理年月日	件 名	請願・（陳情者名）	
54	令和 7 年 11月25日	学校給食費の無償化と安全な地場農産物の活用について	住所 氏名	
請願・陳情の要点			左に対する措置等	
<p>秋田県内で小・中学校給食費の無償化を実施している自治体は、一部助成を含め、2025年10月 1 日現在、25市町村中、16市町村（64%）となり、この 1 年間で半数を超えました。</p> <p>背景には、急激な物価上昇等による家計負担の増加などに対して、子育て家庭を支援しようとする決意があります。</p> <p>給食費無償化実施の最大の課題は財源です。実施している自治体では、ふるさと納税の活用など、工夫をしながら取り組んでいると聞きます。</p> <p>昨年、私たちの会で学校給食費無償化を求める署名活動を行ったときに、多くの賛同の声を聞き、この取組は今望まれていると実感しました。</p> <p>つきましては、未来の秋田の宝である子どもたちが、より多くの地場産の安全な食材を活用した給食を無償で食べることができ、健やかに成長できるよう、下記のとおり陳情します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 小・中学校の児童生徒を対象にした学校給食費の無償化を実現すること。</p> <p>2 安全な地場農産物をより多く学校給食に活用すること。</p>			<p>1 学校給食費の完全無償化の実施に当たっては、小・中学校合わせて年間約 14億円の財源が必要になるものと捉えております。</p> <p>現在、国においては、令和 8 年 4 月からの小学校における給食無償化を目指し、具体的な制度設計の検討を始めており、本市としては、検討の状況を注視しつつ、市の財政状況を勘案しながら、無償化の実現に向け、準備を進めてまいります。</p> <p>2 安全な地場農産物の活用については、学校給食における地産地消を推進するため、市内産の農作物を優先的に購入するとともに、J Aから提供される市内産野菜等の出荷計画を参考に献立を作成しているほか、市場に出荷されない規格外の農作物についても加工品として、学校給食に取り入れております。</p> <p>今後も関係機関と連携しながら、地産地消の拡大に向けた取組を継続してまいります。</p>	

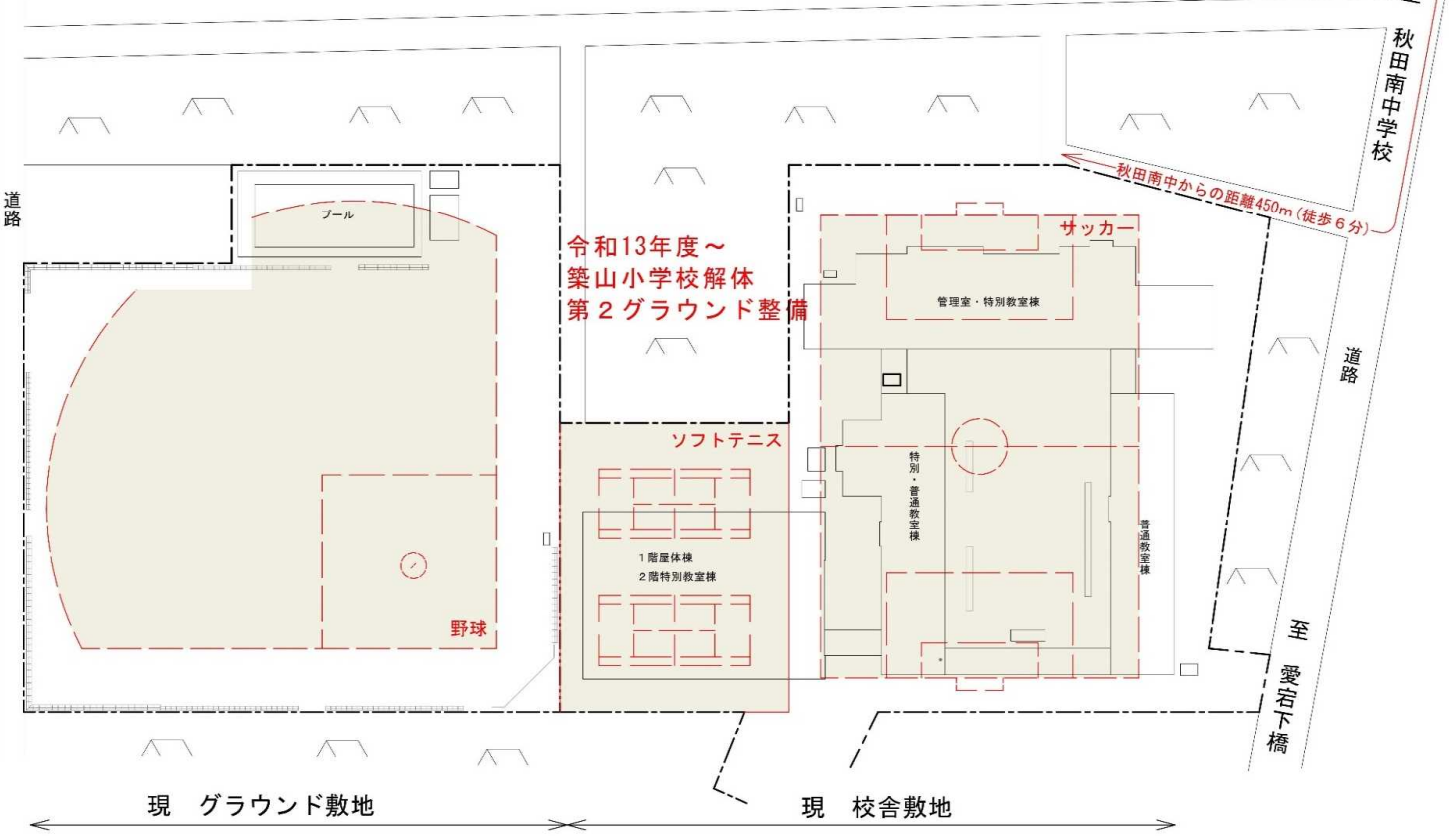
秋田南中学校・築山小学校・中通小学校併設校整備事業スケジュール

		令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度			令和12年度			令和13年度			令和14年度			令和15年度			令和16年度			備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
小中併設校	秋田南中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

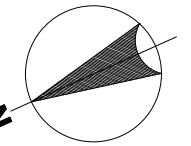
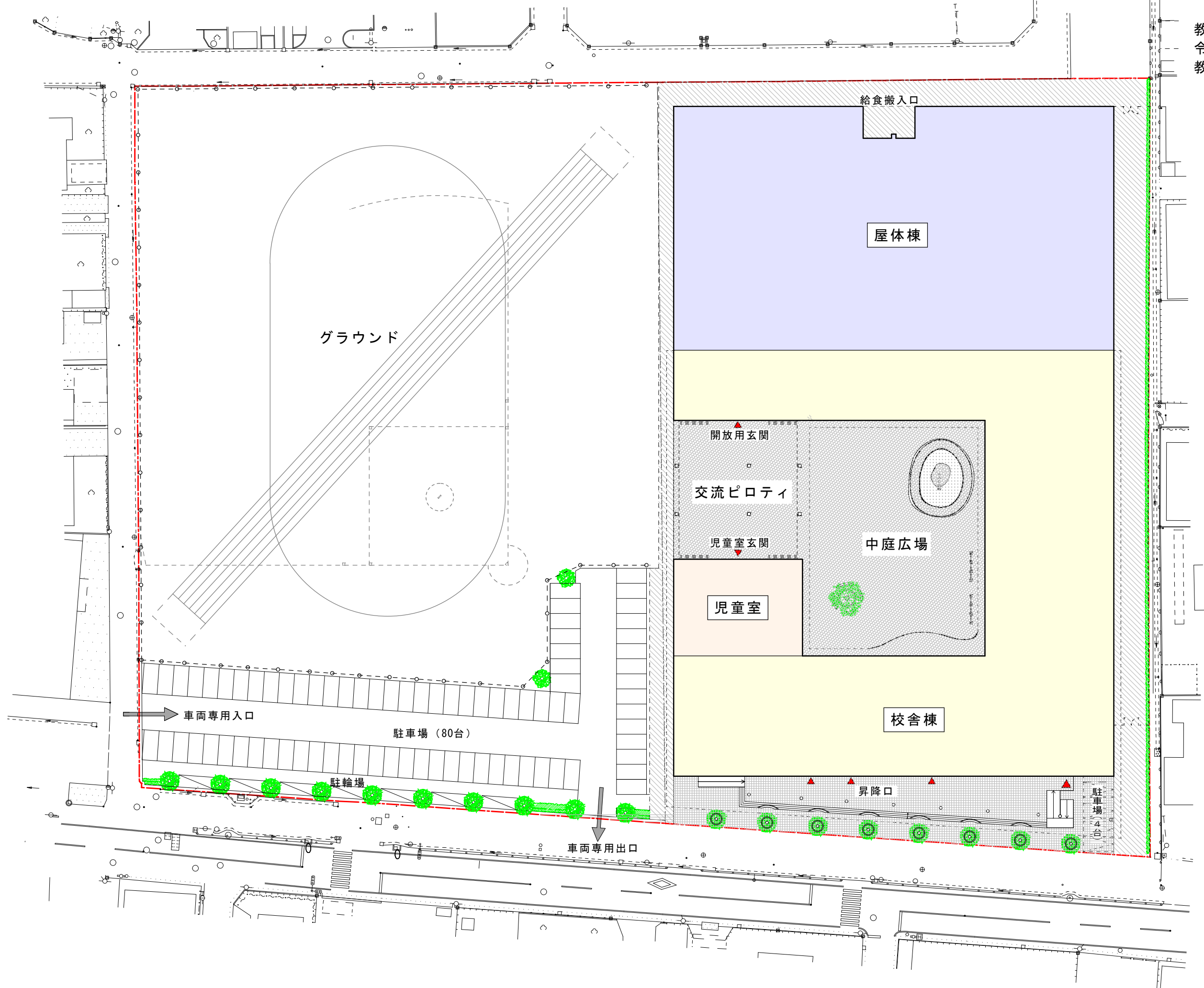
秋田南中学校敷地

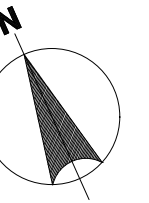


築山小学校敷地

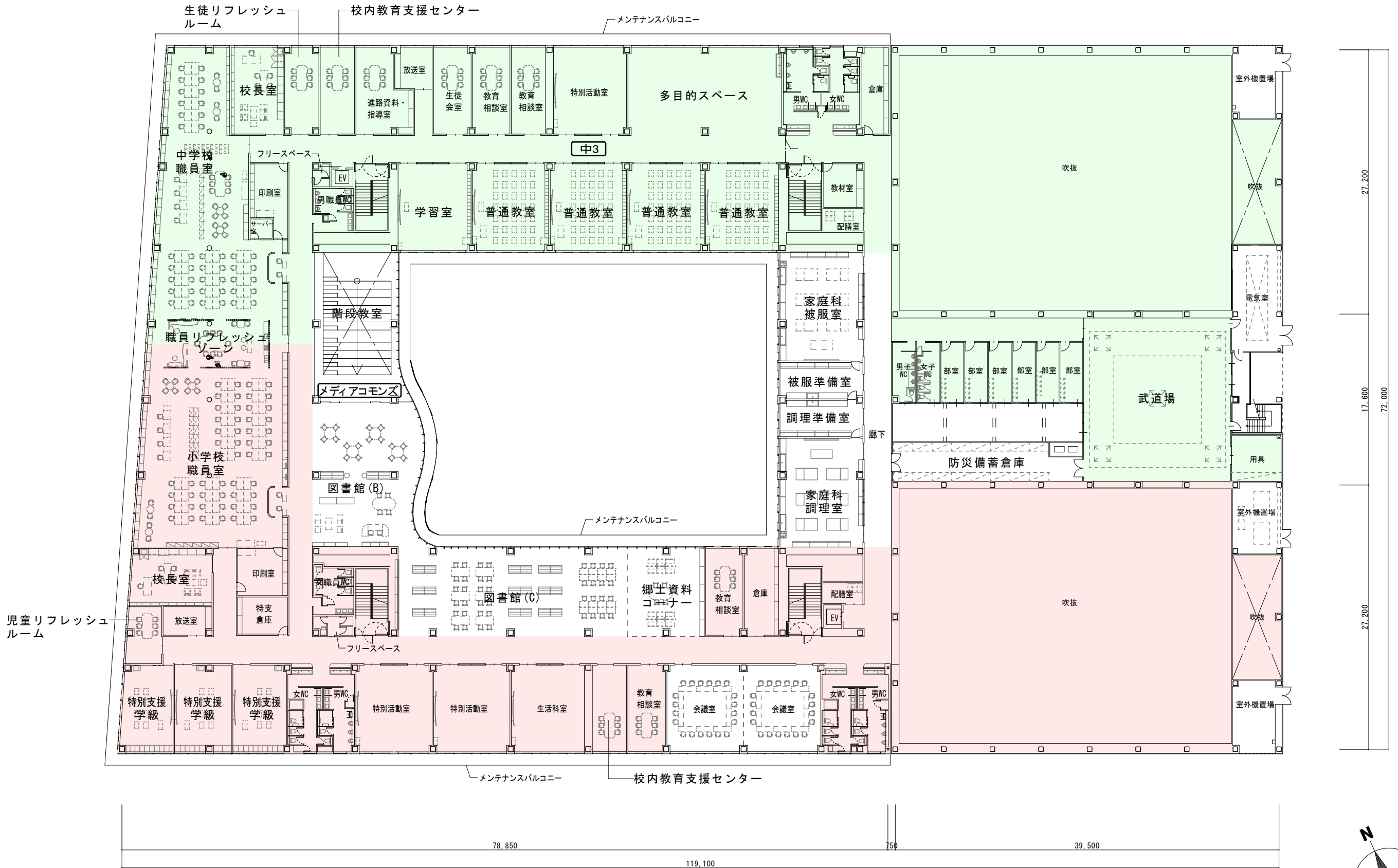


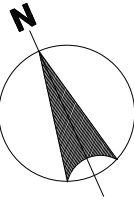
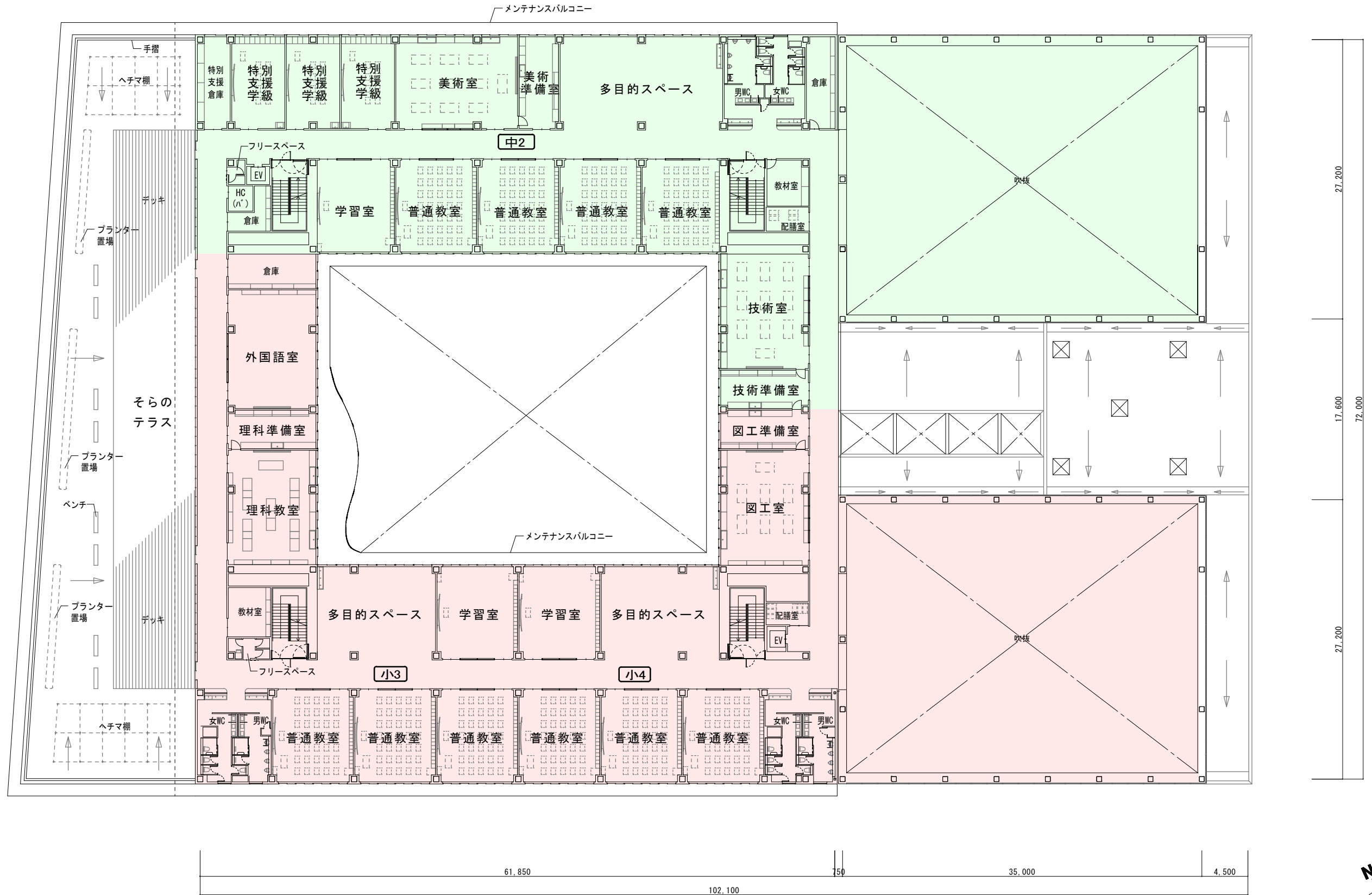


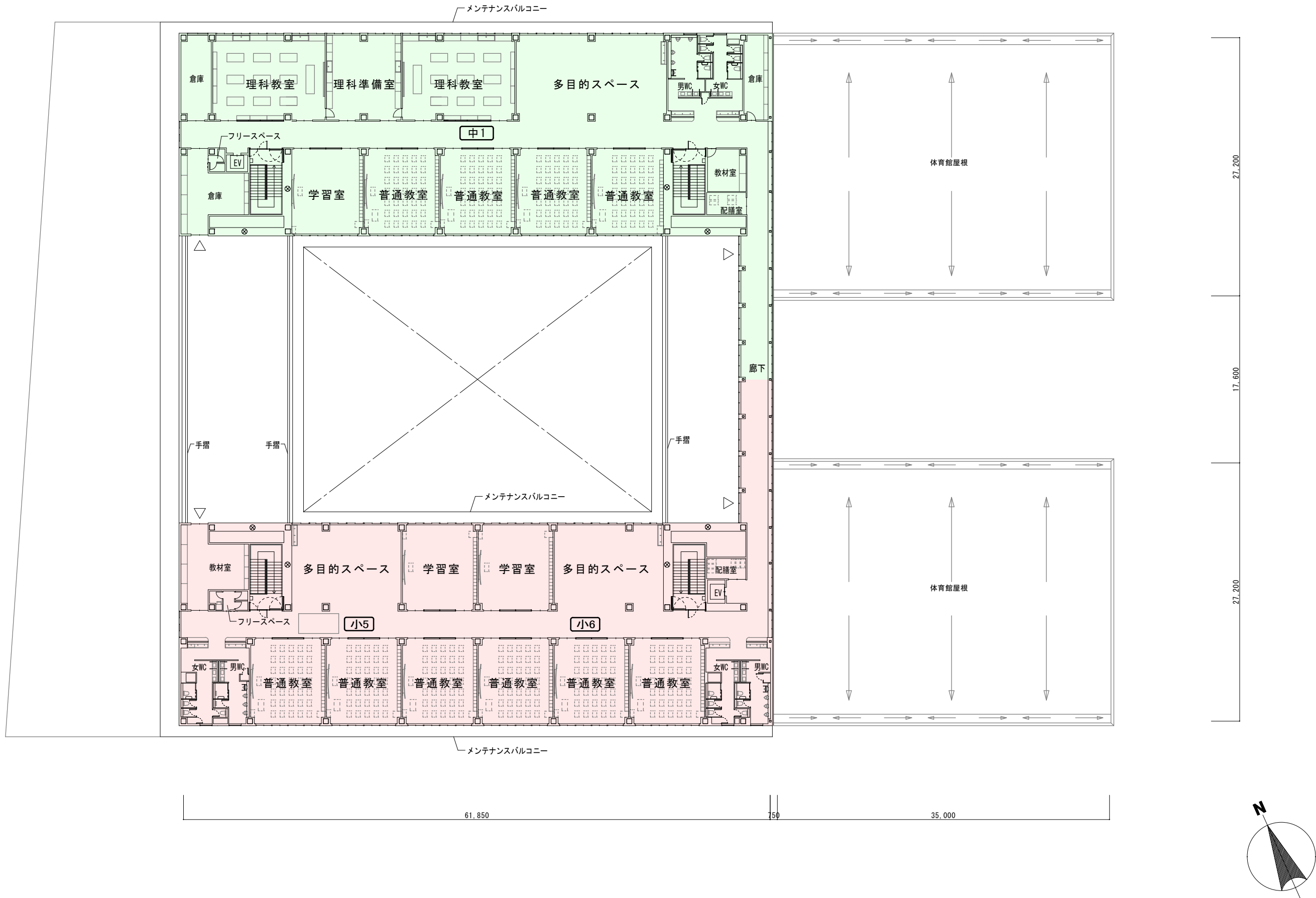




S=1 : 400







秋田市学校給食調理場再編整備計画の策定について

1 概要

本市の学校給食の現状と課題を整理のうえ、調理場再編による給食事業の効率的な運営と計画的な施設整備の両立を図り、将来にわたって安定的に学校給食を提供していくことを目的として秋田市行政改革大綱に基づき本計画を策定した。

2 本計画の構成

- (1) 計画の目的と位置づけ
- (2) 学校給食の現状と課題
- (3) 調理場再編と施設整備の必要性
- (4) 調理場再編整備の基本方針
- (5) 調理場再編整備計画等

3 調理場再編の基本的な考え方

(1) 再編整備の方向性

- ・市内を複数のブロックに分け、給食センターを整備することを基本とし、小規模な調理場については、給食センターの整備を行うまでの間、学校適正配置等との整合性を図りながら、共同調理場の整備による集約化を進める。
- ・校舎の大規模改修を予定している学校については、改修後の調理場を活用した共同調理場の整備を進める。

(2) 再編整備計画

- ・現状（令和7年5月1日現在）の調理場数 40場
（単独調理場30場、共同調理場9場、給食センター1場）
- ・再編整備後（令和20年度予定）の調理場数 8場
（共同調理場5場、給食センター3場）

4 給食センター化を基本とした再編整備

(1) メリット

- ・将来の児童生徒数や調理員数の減少に対応した効率的な運営ができる。
- ・施設の集約化により、維持管理費等のコストを削減できる。
- ・学校給食衛生管理基準に適合した調理場の整備が可能である。
- ・整備期間中も支障なく給食の提供ができる。

(2) デメリット

- ・建設費等の初期費用が多額となる。
- ・施設等のトラブル発生時の影響が大きくなる。

5 再編整備による経費の削減効果

「改修により現状の調理場を維持した場合」と「本計画を実施した場合」の調理場整備費、厨房機器更新経費および維持管理費（調理員等の人件費、調理業務委託費等）の累計コスト比較では、令和34年度には約61.8億円の経費削減が見込まれると試算している。

令和5年度に発生したいじめ重大事態について

1 事案の概要について

令和5年のゴールデンウィーク前後から6月にかけて、秋田市立中学校の生徒が、同級の生徒複数名から表情を揶揄されるいじめ事案が発生した。学校は6月にいじめ事案として認知した後、いじめを行った生徒に指導し、再発防止を図るほか、対象生徒の心情に配慮して支援するなど、丁寧な対応に努めた。

事案発生後、対象生徒の欠席日数が、いじめ重大事態の目安とされる30日に達したことなどから、令和6年3月、いじめ重大事態と判断し、4月に県を通して国に調査報告書を提出した。

2 主な経緯について

- 令和5年5月
- ・保護者が学校でカウンセリングを受けた際に、スクールカウンセラーに、「クラスになじめない」「席替えの際、仲のよい友だちの近くにしてほしい」等を記載した文書を渡した。
 - ・学校は、保護者が提出した文書を管理職等で供覧した。文書にはいじめを訴える記載はなく、学校はいじめと認識することはできなかった。
 - ・学校は、対象生徒がクラスになじめないと感じていることを踏まえ、見守りを続けることとした。
- 6月
- ・保護者から学校に、対象生徒が複数の生徒からいじめを受けている旨の連絡があった。
 - ・学校は、速やかに関係する生徒に聞き取り調査を行い、事実確認に基づき、本事案をいじめとして認知した。
 - ・学校は、対象生徒の心情に寄り添った対応に努めるとともに、いじめを行った生徒に、いじめは決して許されない行為であることの理解を促し、再発防止の指導を行った。
 - ・いじめを行った生徒は、対象生徒への謝罪の意思を示していたことから、学校は謝罪の機会について提案したが、対象生徒と保護者の意向を踏まえ、謝罪の場は設けられなかった。
- 8月
- ・学校は、保護者からの依頼を受け、謝罪の場を設定したが、対象生徒の状態を考慮した保護者の意向に沿い、謝罪は行われなかった。
※後日、いじめを行った生徒からの謝罪の手紙が、学校から保護者に渡された。

学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

1 地域ブロック協議会の開催状況等

(1) 第9回河辺地域ブロック協議会【11月12日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・岩見三内小PTAとしては、統合に対して反対意見はない。
- ・岩見三内中PTAとしては、岩見三内小、中が併設校であるため、第2段階の検討委員会においても同時に協議したいと考えている。また、岩見三内地区も、検討委員会に進み、協議を行うことに異論はないと伺っている。
- ・河辺中、河辺小、戸島小のPTAおよび和田地区、豊島地区の町内会長会としては、第2段階の検討委員会に進めることに異論はない。

イ 今回の協議会での確認事項

- ・岩見三内小と河辺小および岩見三内中と河辺中の組合せについては、協議の第2段階である検討委員会を同時に設置し、併せて小学校と中学校の統合の可否を検討する。

2 学校統合検討委員会の開催状況等

(1) 第7回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会【9月26日(金)開催】

ア 主な意見等

- ・土崎中PTAでは、統合はまだ先であると考えており、今後も生徒数の推移を見ていきたい。
- ・将軍野中PTAでは、2校の生徒数の推計に大きな変化はなく、適正規模となるのは令和17年度の見込みであるため、引き続き、生徒数の推移を見守る必要があると考えている。
- ・土崎小と土崎南小の統合により、土崎中と将軍野中への進学状況がこれまでと大きく変わる可能性があると考えており、子どもたちの動向を注視していきたい。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会は、引き続き、生徒数の推移や土崎小と土崎南小の統合後の状況を見ながら、必要に応じて、年1回の協議を継続する。
- ・ただし、生徒数の減少が急激に進むなど状況に変化があった場合は、状況に応じて検討委員会を開催するなどの対応を行っていく。

(2) 第9回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会【11月7日(金)開催】

ア 主な意見等

- ・浜田小PTAとしては、オープンスクールで学区外から通学している児童のためにも、統合する選択肢はないと考えている。
- ・豊岩小PTAの中では、統合はやむを得ないとの意見が多数出てきており、児童数の状況を踏まえて、豊岩小が単独でも日新小へ統合して良いとの意見もある。
- ・下浜小PTAとしては、統合は避けられないと考えているが、現実的に捉えている保護者が少ない状況であり、日新小のグラウンド整備状況等を見てから考えていきたい。
- ・豊岩地区としては、すでに複式学級が発生しており、前年度の入学者がいなかったことから、統合はやむを得ないと考えている。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会については、引き続き、児童数の推移や日新小のグラウンド整備状況等を見ながら、年1回の協議を継続する。
- ・ただし、各校PTAの検討状況に変化があった場合は、状況に応じて検討委員会を開催するなどの対応を行っていく。

(3) 第7回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【11月14日(金)開催】

ア 主な意見等

- ・秋田北中保護者会としては、統合することにより保護者の負担が増加するものと考えており、その負担軽減についても検討していきたい。
- ・飯島中PTAとしては、小学生や中学生のうちから多くの人と関わり、様々な環境に適応できる子どもを育てていきたいと思っており、統合については子どもたちのことを十分に考えて検討していきたい。
- ・下新城地区や金足地区では、小中学校は地域活動の拠点であるため、閉校になると、地域の衰退につながるのではないかと心配する声がある。
- ・単級が発生し、部活動が困難になる場合には、統合を早める必要があるが、飯島小と下新城小の統合後の子どもの動向を見守りながら、これまでの考えと同様、令和15年度に統合するのが良いと考える。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会については、引き続き、統合時期の目途を令和15年度とし、生徒数の推移や部活動の状況を見ながら、年1回の協議を継続する。
- ・ただし、生徒数の減少が急激に進むなど、状況に変化があった場合は、状況に応じて検討委員会を開催するなどの対応を行っていく。

3 学校統合準備委員会の開催状況等

(1) 第6回河辺小、戸島小学校統合準備委員会【10月15日(水)開催】

(令和8年度統合予定)

ア 今回の委員会での確認事項

- ・閉校記念事業の実施については、実行委員会が主体となり、学校および教育委員会と連携しながら、準備を進める。
- ・統合に伴う体育着等の指定物品については、体育着等の具体的な支給方法等を確認し、引き続き、支給に向けて調整する。
- ・スクールバスの運行については、対象児童の保護者へ説明し、意見や要望を踏まえ、乗降場所や時間などを確定する。

(2) 第4回築山小、中通小学校統合準備委員会【10月22日(水)開催】

(令和12年度統合予定)

ア 今回の委員会での確認事項

- ・2校の児童や保護者、地域住民等への公募結果を踏まえ、準備委員会において統合後の校名候補を決定した。
- ・準備委員会が決定した校名候補をもとに、教育委員会内の選定委員会で審議し、「秋田市立南小学校」を選定した。

4 記念式典の開催状況

(1) 戸島小学校

- ・式典 秋田市立戸島小学校閉校記念式典
- ・日時 11月1日(土) 午前10時50分～午後0時15分
- ・会場 秋田市立戸島小学校 体育館
- ・参加者 227人(市議会議員、地域関係者、PTA関係者、歴代職員ほか)
- ・内容 市長等のあいさつ、校旗の返納、児童発表「われらは共に 手をつなぎ 未来へ！」ほか
- ・その他 閉校記念式典に引き続き除幕式を開催し、閉校記念事業実行委員会が建立した閉校記念碑を紹介(雨天のため体育館で実施)

5 今後のスケジュール

(1) 地域ブロック協議会

開催日	地域ブロック協議会	地域
令和8年1月以降	第7回南部地域ブロック協議会	南部

(2) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
令和8年1月以降	第4回八橋小、寺内小学校統合検討委員会	中央
	第1回岩見三内小、河辺小および岩見三内中、河辺中学校統合検討委員会	河辺
4月以降	第10回旭北小、旭南小学校統合検討委員会	中央
	第10回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
	第8回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会	北部
	第8回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	

(3) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
令和8年1月以降	第5回築山小、中通小学校統合準備委員会	中央
	第5回飯島小、下新城小学校統合準備委員会	北部
	第11回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会	
	第7回河辺小、戸島小学校統合準備委員会	河辺

※(1)～(3)の地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。

(4) 記念式典

開催日	名称	会場
令和8年2月21日(土)	新生土崎小学校統合記念式典	あきた芸術劇場 ミルハス

市立図書館の開館時間の見直しについて

令和6年1月に電子書籍サービスを導入し、利用者も増加していることから、今後さらに効率的な運営とサービスの質の向上を図るため、市立図書館の開館時間を見直す。

1 見直しの内容

	平日の開館時間		現 状	見直し案
1	明徳館	7月	9:00 ～ 20:00	9:00 ～ 19:00
2	雄和図書館	通年	10:00 ～ 19:00	10:00 ～ 18:00

2 見直しの理由・利用者への影響の検討

(1) 明徳館

平成16年から、7月平日の開館時間を延長してきたが、土崎図書館・新屋図書館と同様に、平日は通年19時閉館とする。

なお、7月の平日19時台の利用者は極めて少ない。

県立図書館は、特例開始当時20時閉館だったが、現在は19時閉館としている。

明徳館19時台の平均利用者数 閲覧室：5人／50席、学習室：8人／100席

電子書籍サービス ログイン数（令和6年度） 23,141回

(2) 雄和図書館

平成16年度の合併を機に、旧秋田市の図書館に合わせて、平日19時までの開館としているが、従前の閉館時刻に戻し、河辺分館と同一の開館時間とする。

なお、平日18時以降の来館者数は平均1人に満たない。

雄和図書館18時台の平均来館者数 0.3人

3 今後のスケジュール

令和8年1月	規則改正（教育委員会定例会）
令和8年1月～	雄和図書館内に開館時間変更のお知らせを掲示
令和8年4月1日	雄和図書館の開館時間変更実施
令和8年6月～	明徳館内に開館時間変更のお知らせを掲示
令和8年7月1日	明徳館の開館時間変更実施